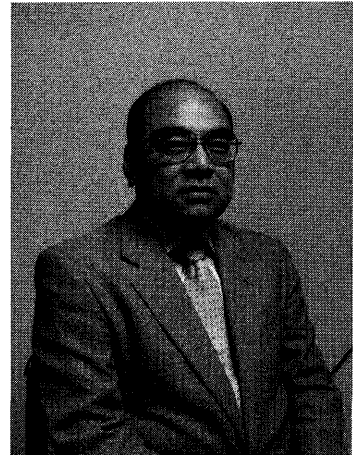


巻 頭 言

富山大学地域連携推進機構産学連携部門長

升方 勝己

地域の活性化が政府の重要課題として取り上げられており、地域の産業界、高等教育機関、地方自治体、金融機関の産学官金が一体となった地域イノベーションの創出への取り組みが求められております。その中で、富山大学は地域の知の拠点として産学官金連携の中心的役割が求められるところであり、これに対応するための組織改変を進めております。これまで富山大学では産学連携組織として地域共同研究センター、知的財産本部・富山大学 TLO、ベンチャービジネスラボラトリー(VBL)が独自の事業を展開していましたが、平成 20 年度にこれらの統合を図り、地域連携推進機構を設置し、その中の産学連携部門において大学の産学連携機能の一層の強化を図る事を目指しております。これらの統合により、これまで実施してきた VBL のプロジェクト研究を、大学として地域イノベーションに資する研究シーズを提供する体制を構築するためのプロジェクト研究として発展させていきたいと考えております。また、産業界、金融機関と連携して創出された研究シーズを新産業に結びつける体制を構築したいと考えておりますので、皆様の益々のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



平成 20 年度に地域連携推進機構産学連携部門では、大学における新産業創生の拠点として、新産業の創生につながる研究シーズの創出と、学生のベンチャーマインドの育成、大学発ベンチャー支援を 3 本柱として活動を行っております。研究シーズ創出を目的として平成 20 年度は 20 件のプロジェクト研究を実施しており、着実な成果が得られております。一方、ベンチャーマインド育成事業として、大学院理工学教育部修士課程にベンチャービジネス論、富山大学 MOT 講座を開講すると共に、ビジネスプランコンテストにより学生のベンチャー意識の高揚を図っております。更に、富山大学工学部敷地内に設置されました富山市新産業支援施設と連携してベンチャー創出に関する各種セミナーの実施、大学発ベンチャーのインキュベーションの場としての同施設の活用するなど、ベンチャー育成事業の支援を行っております。本小冊子は、平成 20 年度のプロジェクト研究活動を取りまとめたものであります。是非、ご一読いただき、富山大学地域連携推進機構産学連携部門の活動をご理解の上、ご高配賜りますようお願いいたします。

平成20年 4 月